

英文要旨執筆要綱（執筆要綱・補足説明もあわせてご覧ください）

1. 要旨の言語は、英語に限定します。
2. 原稿の長さは200語以内です。長すぎる場合は、編集委員会の責任において短縮することがあります。
3. 英文要旨は、あらかじめ英語を母国語とする人の添削をうけてから提出してください。提出された英文要旨は英語を母国語とする校閲者が校閲しますが、最終的責任は執筆者に帰します。
4. 校閲者は和文要旨を参考にしますので、英文要旨は和文要旨と同じ内容にしてください。なお、提出された英文・和文要旨について、校閲の段階で修正することはできますが、校正の段階で修正することはできません。
5. 表記について
 - a. 原語の表記は、それぞれの原語の慣例にしたがってください。日本語の場合は、原則としてヘボン式表記とします。長母音をしめすマクロンを使用してもかまいません。
 - b. 人名（個人名）は、姓を大文字にしてください。
例: Adam SMITH, Yukichi FUKUZAWA, ZHOU Enlai, Otto von BISMARCK
 - c. 原語は、原則としてイタリックとします。必要に応じて英訳をつけてください。ただし、固有名詞はその限りではありません。
例: *daimyo* [local lord], *daimyos* or feudal lords, local lords (*daimyos*)
例: Hyogo Prefecture, Suzuki Shōten, Qianlong Emperor
 - d. 引用符は、ダブル・クオテーションとします。
 - e. コンマとピリオドは、引用符の内側におきます。
6. 要旨には、著者名（ローマ字表記・姓は大文字）、所属（ローマ字表記）および英文タイトルも必ず記載してください（語数には含まれません）。

以上